

法曹・法律専門職コース履修系統図

		1年次		2年次		3年次		4年次			
モデル	目標	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター		
共通教育科目	全モデル共通	情報リテラシーA キャリア開発A 数的処理 I A 文章表現入門		情報リテラシーB キャリア開発B 数的処理 I B		数的処理 II A 文章理解 I 判断推理(論理)		数的処理 II B 文章理解 II 判断推理(図形)			
	演習	基礎演習A		基礎演習B		演習 I A		演習 I B			
専門教育科目	演習			演習 I A		演習 I B		演習 II A		演習 II B	
	a 法科大学院・司法試験	法学の基礎 憲法概論 民法総則 I 戦後法制史 世界の政治		憲法学 I 民法総則 II 刑法総論(概論) 日本の政治 経済学入門		憲法学 II 行政法総論 I 物権法 I 債権総論 I 債権各論 I 家族法 I 刑法各論(概論) ビジネス法務		行政法総論 II 刑法 I 物権法 II 債権総論 II 債権各論 II 家族法 II 会社法概論 商取引法概論		行政救済法 I 民事裁判と法 商法 I 刑法 II 刑事政策 刑事裁判と法 労働基準法	
	b 準法曹(専門資格)					政治学系の研究職 政治過程論 I 国際政治学 I		政治学系の研究職 政治過程論 II 国際政治学 II		行政救済法 I 民事裁判と法 商法 I 刑法 II 刑事政策 刑事裁判と法 税法 I 不動産と法規制 労働基準法 社会保険法	
	c 専門職公務員									行政救済法 I 民事裁判と法 商法 I 刑法 II 刑事政策 刑事裁判と法 税法 I 不動産と法規制 労働基準法 社会保険法	
d 法学研究科(大学院)									行政救済法 I 民事裁判と法 商法 I 刑法 II 刑事政策 刑事裁判と法 税法 I 労働基準法 国際法概論		
経済学関連科目	法学・政治学の関連分野として、経済理論、経済政策、経営理論、商学、会計学等の知識を修得する。			a-d 【社会経済学 I・II、経済政策論、社会政策、財政学(財政と制度)、 b 【初級簿記、簿記論 I・II、上級簿記、財務会計】 c 【ミクロ経済学 I・II、マクロ経済学 I・II、経済政策論、社会政策、 財政学(財政と制度)、財政学(経費と租税)、会計学 I・II】							
Sコース		a・b・c・d【法曹・法律専門職養成講座】		a 【司法試験対策講座(基礎編)、司法試験対策講座(応用編)】 b 【宅建講座、行政書士講座、司法書士講座、税理士講座、社労士講座】 c 【宅建講座、行政書士講座、公務員採用試験対策講座】							
資格		法学検定、ビジネス実務法務検定		宅地建物取引士試験		行政書士試験					
学修目標	・法学・政治学分野の幅広い基礎知識を修得する。 ・読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる、グループワーク力、プレゼンテーション力といった基本的な汎用性を身に付けるトレーニングを行う。 ・外国語力を伸ばす。 ・興味・関心に応じて、人文・社会・自然等の教養分野の知識を広げる。 ・キャリアに関する意識を持つ。 ・興味・関心・将来の進路志向に適したコース、演習を選択するために、コース、演習内容について理解する。			・法学・政治学の専門知識を拡充させる。 ・実践的・能動的な取り組みを通して、基本的な汎用力のさらなる向上に努める。さらに、課題を発見する能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を高める。		・憲法・民法・刑法などの基本法律科目の基礎知識を修得する。 ・社会で生じる様々な法的課題に対し、問題点を正確に理解する能力を修得する。		・法学・政治学の専門知識を深め、体系的に理解する。 ・実践的・能動的な取り組みをさらに重ねて、課題解決策を考える能力を向上させる。 ・キャリアに関する意識を具体化し、行動する。 ・インターンシップに取り組む。		・法学・政治学の専門知識を発展させるとともに、他者と協調・協働して課題解決策を考える能力を修得する。 ・社会人としての心得を修得する。 ・進路に関連する専門知識を拡充する。	
								・憲法・民法・刑法などの基本法律科目の理解を深める。 ・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法などの法律科目の知識を修得する。 ・様々な法的課題に対し、具体的な解決方法を検討する能力を修得する。		・幅広い法律知識を修得し、課題解決能力をさらに伸ばす。 ・目標とする進路を実現する。	

法学部履修細則
(2021年度入学生)

法学部履修細則
(2021年度入学生)